

おくり

平成19年 8月

No.121



議会だより

■発行 奥尻町議会

■編集 広報編集特別委員会

☎01397 2-3412 番



大漁祈願の餅まきだ!!

平成19年第2回定例会 …… 予算措置の専決処分、各会計補正予算、意見書など

平成19年第2回臨時会 …… 稲穂・赤石地区の水道取水工事に係る補正予算

一般質問 …… 伊藤 実議員 ・青坂賢二議員 ・制野征男議員

第2回定例町議会

平成19年第2回定例会は、6月19日に招集され、専決処分、平成19年度各会計補正予算、条例等を審議し、いずれも可決され、19日に閉会しました。



専決処分

▽平成19年度一般会計補正予算(第1号) ……承認

檜山海区漁業調整委員会委員補欠選挙に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ、1百40万6千円を追加し、予算総額は、34億6千83万8千円となりました。

補正予算

▽平成19年度一般会計補正予算(第2号) ……原案可決
歳入歳出予算に2千1百73万8千円を追加し、予算総額は、34億8千2百57万6千円となりました。
補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

国庫支出金 △1千円
道支出金 9百43万2千円
繰入金 1千2百8万7千円

諸収入 22万円

〔歳出〕

総務費 6百85万9千円
民生費 17万円
衛生費 2百65万7千円
商工費 34万円
教育費 1千1百71万2千円

□平成19年度国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第1号) ……原案可決
診療業務委託料など5百39万3千円を減額し、予算総額は4千54万円となりました。

□平成19年度老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決
過年度医療給付費等精算還付金5百53万円を追加し、予算総額は4億1千6百43万4千円となりました。

□平成19年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決
総務管理費など60万円を減額し、予算総額は5千4百31万6千円となりました。

△平成18年度一般会計繰越明許費繰越計算書
後期高齢者医療制度保険料徴収等システム開発委託事業翌年度繰越額1千3百10万4千円となりました。

△平成18年度国民健康保険事業勘定特別会計繰越明許費繰越計算書
国保システム改修委託事業翌年度繰越額6百61万5千円となりました。

○新たに生じた土地の確認について ……原案可決

その他

○新たに生じた土地の確認について ……原案可決

報告

宮津漁港公有水面埋立により新たに生じた土地の確認が承認されました。

○奥尻町の字の区域の変更について ……原案可決
宮津漁港公有水面埋立により新たに生じた土地の字の区域の変更について承認されました。

◇北海道後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について

この選挙は、町村議会議員の区分において候補者定数8人を上まわる9人となり、選挙が行われることになったものです。

議会運営委員会

6月15日に議会運営委員会が開かれ、19日から開催される6月定例町議会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期については2日間とし、各団体から要請されていた意見書については4意見書について、同委員による共同提案とすること等を決めました。

意見書を提出しました

次の意見書を関係機関に提出しました。

◎後期高齢者医療制度の充実を求める意見書

◎特定健診・特定保健指導に関する意見書

◎地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進に関する意見書

◎地方財政に関する意見書

◎道路整備に関する意見書

議員研修会

7月3日に札幌で北海道町村議会議員研修会が開かれ、奥尻町議会議員9名が参加し、さわやか福祉財団の堀田 力氏の『町村議員に期待する』、東京大学名誉教授の大森 彌氏の『分権時代の基礎自治体とその議会』と題し講演が行われました。



▼堀田氏はこれからの自治体は財政的に厳しい状況がつづくことから、町民が自ら行政に参加する活動が求められるのではないかと、この提起がされました。



▼大森氏は、政府が進めようとしている道州制、そして自治体を極端に少なくする合併については大いに疑問があるところだ。議会は地方自治法を駆使して権威を高め、予算議会などでは、端に町側が提案する議案に

賛否を表すだけでなく、住民の利益に結びつく、事案を提起する町議会に成らなければならぬ、などの考えが示されました。



一般質問

国有林の伐採はいつまで続くのか

〔質問〕

伊藤 実 議員

国有林の伐採が長期につづけられており、青苗川水道水源の1帯でも行われているが国有林の伐採計画は二〇〇一年から二〇〇六年の間における天然林の伐採量と、二〇〇七年度の伐採計画を承知しているか。

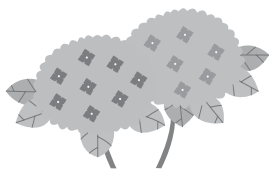
二〇〇七年度の伐採計画はない

和田 良司 町長

〔答弁〕

国有林の伐採計画では平成17年から21年までとなり、平成22年度以降は5ヶ年計画の下で伐採計画が進められることとなりますが、二〇〇七年度は天然林の伐採計画はなく、人工林を搬出する程度とのことです。

人工林の伐採量はトドマツ約一四〇〇本、三一七七石で、二〇〇一年から二〇〇六年までの天然林の伐採量は九五八本、六一二八石となっています。



宝くじの利益で寄贈された

草刈機の管理は適正か

〔質問〕

青坂 賢二 議員

宝くじ運営委員会から寄贈された草刈機が15台あるが、寄贈は町にされたものか、それとも町内会に寄贈されたものなのか。町内会長でも寄贈されたことを承知していない者もいる。草刈機は現在、どのように管理され、運用される状況になっているのか、明確にすべきではないのか。

寄贈は町内会連合会の希望により

連合会の所有になるもの

和田 良司 町長

〔答弁〕

町内会連合会の希望により宝くじの利益による一〇〇万補助の事業で一〇〇万円で15台の草刈機を購入したもので、町内会連合会が所有している担当の住民課が「うにまの災害救助テント倉庫」に9台「青苗支所」に2台、「富里、松江、米岡、神威協地区」に各1台を区長が管理している。使用については、目的に呼応し、町内会や役場が主に使用することになりますが、連絡調整に万全を期してトラブルの無いようにしていきます。

レジ袋の廃止で商店の経費節約などはかるべき

〔質問〕

制野 征男 議員

ごみの排出量の削減と地元商店の経費節約、資源ごみの回収時における利用の制約、と言う観点から町、商店、町民の協力によって、レジ袋の廃止に取り組むべきではないか。レジ袋の廃止は急ぐべき課題であり、そのために、町と商工会の経費負担により各世帯に買い物袋を配布してはどうか。高価なものではなく100円ショップで購入したもので十分使用できるものだ。

マイバックの購入ありきでなく

関係機関と議論深めたい

和田 良司 町長

〔答弁〕

レジ袋の単価は中の大きさで5円程度と聞いており、全国的なデータからして、奥尻町では年間300万枚使用されているものと推定されています。マイバックの利用は全国的な採用傾向にあります。購入への助成ありきではなく、どのような取り組みが必要なのか、町の廃棄物減量等推進協議会等において議論を深められればと考えている。

フェリーの小荷物扱い廃止の動きを

議会に報告が無いのはなぜなのか

〔質問〕

制野 征男 議員

生活航路となっている奥尻―江差航路における小荷物扱いをフェリー会社では出来るだけ早くに廃止したいとの動きをしめしている。島民に与える影響が極めて大きいものだが、町議会に報告がされないのはなぜか、島内での影響の実態と改善策について町はどのように対応していくつもりなのか。町長は4月に本社から説明を受けているのではないか。

利用者と情報交換しながら協議し

会社に要望するよう指示している

和田 良司 町長

〔答弁〕

フェリー会社として経費削減の一環として、小荷物運搬にかかるパレット作業を廃止の案を江差支店として、本社に上げている実態にあるが、利用者への影響について精査中との説明を本社で受けたことから議会に報告していなかった。

5月末の実態としてフェリー輸送による手段は確保されることなので、影響はないと判断しているが、パレット積みから船底積みとなることから、荷主本人の運搬になるので労務負担になる、と言う動きです。

しかるべき時期になったら、小荷物運搬を主に利用する団体と情報交換を通じて協議し、フェリー会社に要望するように担当課には指示している。

夏目歯科医師との個人開業の契約でないなら

町の経費節減ならなら

〔質問〕

制野 征男 議員

夏目歯科医師との業務委託は個人開業の方向ではなかったのか。いままでと同じ委託業務なら町としての経費節減にはまったくならないのに、いつまで委託業務を続けるつもりなのか。また、診療報酬が2ヶ月遅れとなるはずだが、6月から奥尻町は診療報酬を立て替えるということになるのか。3LDKの住宅に家賃2万円というのは、安すぎるもので、町職員ではないのだから計算方式を変えるべきではないか。

早く個人開業するように伝えており

家賃は据え置いている

〔答弁〕

和田 良司 町長

町としては施設や設備の面を考慮し出来るだけ早く個人開業するように伝えてある。住民の歯科治療確保のために、6月1日から業務となったが、指摘のように、診療報酬は2ヶ月遅れとなるので、その間は町で診療報酬分は立て替えるものです。

委託業務の内容については毎年、協議していくものなので、訂正することについては、夏目医師も理解はしています。

住宅の家賃については、公宅の管理規則による計算では1ヶ月1万8千8百80円となるが、2万円のままで契約としている。

役場職員の給与を戻すなら町民負担も戻すべき

〔質問〕

制野 征男 議員

役場職員の給与は6%を2年間カットしてきたが、来年度、元に戻すと町長は前の議会で発言しているけれども、中身について具体的にされたい。給与を戻すということは財政的に余裕が見込まれることと理解するが、財政難を理由に住民に負担を求めた事案についても元に戻さなければ不公平であり、住民は納得しないものだ。

職員のモチベーションにも影響あるので

6%削減前に戻すもの

〔答弁〕

和田 良司 町長

平成18年度、19年度と6%を2年間カットしてきたが、自己都合による退職が5名、退職不補充、組織再編等による定員の削減をあわせて歳出削減の効果が現れている。また、職員給与も全道的に見て下位にランクされており、モチベーションにも影響あるとして来年度に6%のカット分を元に戻す措置をとりたい。

住民負担増については震災以来、言い換えれば見直しを控えてきたという一面があるので、職員給与を元に戻すことは同一視の議論にはならないと理解している。

特別支援教育支援員制度と

学力テストの公表は控えるべき

〔質問〕

制野 征男 議員

平成19年度に250億円を組んで特別支援教育支援員制度が発足され、教員の資格を持たない者でも障害を持つ児童に対する介助、学習活動上の支援をすることが出来る制度です。町として年間120万円の交付税が交付されているもので、制度に合致した支援員を配置する方針でいるのか。

また、先に行われた学力テストの結果については、市町村単位での公表はしないこと、指導要録の記載についても強制しないなどの配慮をするのか

支援員は適切に配置し

学力テストは学校ごとの公表はしない

石島 孝司 教育長

〔答弁〕

町内小中学校で新たに発達障害の児童生徒の実態が把握され、また、学校からの要請、保護者の理解が得られれば、支援員の配置について適切に対応していきたい。

学力テストの公表については、9月以降結果が出されますが、学校ごと、個人ごとの公表についてはする予定はない。

指導要録への記載については、一般的には指導上の参考になるので、私個人的には問題はないと考えているが、校長会等と協議して判断していきたい。

住民税の増税の実態と国保税の軽減措置で

住民の負担軽減はかれ

〔質問〕

制野 征男 議員

税源移譲と定率減税廃止での負担増の実態を明らかにしてほしい、負担増による国保税に連動しているもので、このままだと納付できない世帯が増える。前年の所得と比較して大幅に今年度に収入が減少した場合における国保法での税の軽減措置の基準を早期に確立すべきではないか。

こうした措置を講じなければ益々、滞納額が増加するだけであり、法的措置があることを住民に周知する必要があるのではないか。

税の増収は4千3百50万

国保法での軽減措置の周知はかりたい

和田 良司 町長

〔答弁〕

町民税の課税標準額が年収2百万円以下の場合、税額が5%から10%になったことで、2千70万円の増、7百万以下でも10%なので2千6百万の増となり、7百万以上では3百20万円の減額となり、総額4千3百50万円の増となる。

18年度の国保税が徴収率の低下によって、3百31万円の調整交付金は減額されるが、低下の理由は国保税の税率改正にあると理解している。

国保税の軽減措置は法的な措置としてありますが、すぐには住民説明会とはならないものの、機会あるごとに広報誌などを通じての説明を行うことにしたい。

臨時議会

第2回(7月20日)

補正予算

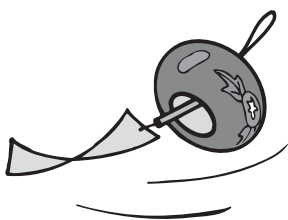
◇平成19年度一般会計補正予算(第3号)：原案可決
 歳入歳出それぞれ3百60万4千円を追加し、予算総額は34億8千6百18万円となりました。

〔歳入〕

繰入金 3百60万4千円

〔歳出〕

衛生費 2百97万5千円
 土木費 △43万8千円
 教育費 1百6万7千円



議会のうごき

6月

- 11日～13日 離島議長会総会及び北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)議長出席
- 15日 議会運営委員会開催
- 19日 第2回町議会定例会開催
- 23日～28日 第58回全国植樹祭用務及び檜山総合開発期成会懸案事項要望用務(苫小牧市・函館市・札幌市・東京都)議長出席

7月

- 1日 第56回檜山管内消防総合訓練大会(せたな町)議長外2名出席
- 2日～4日 道議長会主催議員研修会(札幌市)議長外8名出席
- 20日 議会運営委員会・第2回町議会臨時会開催
- 27日～28日 北海道市町村職員退職手当組合運営委員会(札幌市)議長出席
- 29日 参議院選挙投票日

編集を終えて

亥年はあらぬ出来事が起こり荒れる年と言われていますが、参院選挙では政権与党が歴史的大敗をし、政界に激震が走っています。

平成の大合併、地方分権、地方交付税の推移について、国会の動きに関心を高めざるを得ない事態になりました。

島内では良い意味でのあらぬ出来事が起こりました。

青中野球部の36年ぶりの全道大会への出場です。投手術の優れた投手と、女子学生が遊撃手で5番打者が活躍しています。

室津祭り会場での壮行会のキャプテンの挨拶もすっかりしていて感銘を与え、キャプテンを中心にまとまりの良いチームだとの印象を強く受けました。

広報編集特別委員会(Y)